

## 「市民病院改革プラン」主な具体的行動計画の進捗状況（平成 24 年度現在）

### ○効率的な病院運営の推進

#### ■高度医療機器の導入・再編交付金の活用

- ・今日の医療技術の進捗や医療ニーズの高度化・多様化に対応した高度医療の提供を行うため、在日米軍再編に伴う地域振興対策の対象事業として防衛省の再編交付金を充当し、必要度が高い高度医療機器を計画的に整備することとし、平成 24 年度には「手術用患者監視装置」、「ナースコール連動型患者監視装置」等を購入する手続きを進めています。

#### ■クレジットカード決済の導入

- ・クレジットカードによる医療費の決済を可能にし、利用者の利便性を高めるため、当院では平成 22 年 4 月からクレジットカード会社 2 社を採用しているが、さらなる患者サービスの向上を図るため、平成 24 年度からクレジットカード会社 1 社を追加し、カード会社 3 社の利用が可能となっています。

#### ■患者満足度調査の実施

- ・多様化する患者ニーズを把握し、接遇・療養環境などの患者サービスの向上を図るため、院内に所管委員会を設置し、患者へのアンケート調査を実施しています。昨年度は 11 月（14 日・15 日（外来）、14 日・30 日（入院））に調査を実施し、患者満足度が低い 3 項目（「ナースコールの対応」「入院患者へのスケジュール周知」「外来待ち時間のアナウンス方法」）の改善に取り組んでいます。平成 24 年度においても、同様の項目での調査を 9 月（24・26 日（外来）、4・25 日（入院））に実施し、各部署における改善事項の検証を行うなど継続した課題改善に取り組めます。

### ○地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

#### ■地域医療情報の共有化

- ・地域の基幹病院として市内の医療機関との連携を促進するとともに、地域医療の向上に貢献するため、「地域医療連携室だより」を発行しており、平成 24 年 9 月には市内及び近郊の 169 医療機関に送付しています。

また、地域の医師の治療技術向上を目的として、「地域連携セミナー」を千歳市医師会と共催し、症例検討会などを開催しています。

#### ■医療機能分担の促進

- ・地域の基幹病院として急性期医療の充実を図り、より専門性の高い高度な医療を提供するため、当院においては地域の医療機関から紹介いただいた患者が円滑に診療を受けられるように準備し、その治療経過をかかりつけ医に報告するとともに、病状が安定した患者にはかかりつけ医を紹介しています。

また、内科、循環器科、泌尿器科外来待合には、千歳市内の医療機関の情報をまとめた「かかりつけ医情報」「逆紹介についての説明ポスター」を設置しています。

- ・円滑な地域連携を促進するため、院長をはじめ各診療科の医師が地域の医療機関を訪問し、逆紹介患者の動向を把握するとともに、地域医療機関からの要望等を聴取するなど地域医療機関とのさらなる関係強化に取り組んでいます。

#### ■退院支援の充実

- ・地域医療連携課において、地域の医療機関や福祉施設、その他専門機能を有する医療機関のリストを作成し、外来、病棟に設置しています。
- ・当院の入院患者がさらなる高度医療を必要とする場合、高度医療連携に関する協定医療機関への紹介や、病態に合わせた他病院の紹介に取り組んでいます。  
また、がん治療に関しても、その病態に合わせてがん診療連携パスの提携を結んでいる医療機関等へ紹介するとともに、緩和医療が必要な場合にあっては、ホスピスへの紹介なども行っています。

#### ■救急医療の充実

- ・平日日中の救急受入体制において、7月より札幌医科大学救急集中治療医学講座から週1回の医師派遣を受け、救急受入体制を強化しています。

### ○医療・看護の質の向上

#### ■職員の資質の向上

- ・地域の基幹病院として医療・看護の質のさらなる向上を図るとともに、当院が必要と認める看護分野において熟練した看護技術と知識を用いた高水準の看護を実践できる看護師を育成するため、特定分野のエキスパートを目指す看護師の資格取得を支援する「認定看護師資格取得助成制度」を平成24年6月に創設しています。
- ・当市の地域特性及び助産師不足の現状を踏まえ、周産期医療を担う市民病院における助産師確保対策の一環として、助産師の育成及び安定的な確保を図るため、助産師の資格取得を支援する「助産師資格取得制度」を平成24年6月に創設しています。

#### ■医療職人事評価制度の導入

- ・医療職員個々の職務遂行意欲を高め、能力を最大限に引き出すことを目的とした医療職人事評価制度については、医師を対象に6月から2回目の試行を実施しています。10月までに評価を実施し、評価結果については被評価者にフィードバックする予定です。

#### ■チーム医療体制の充実

- ・深刻な足病変を抱える患者は、糖尿病や腎不全、下肢静脈瘤、皮膚科的疾患、整形外科的疾患など複数の診療科に存在しており、適切な治療が受けられない場合には下肢切断や合併症などを招き、通常生活に大きな支障が生じる場合があります。この様な状況を改善するため、平成24年2月より多方面からの診療を可能にする「フットケアチーム」を発足し、チーム医療体制の充実を図っています。

## ○医療提供体制の確保

### ■医師の確保

- ・全国的な医師不足の状況を踏まえ、地域の基幹病院としての役割を果たすため、大学医局へ継続して働きかけるとともに、当院ホームページでの募集のほか、リクルート雑誌を活用した募集広告の掲載及びメールマガジンの配信、医師紹介会社の活用など継続した医師確保対策に取組み、平成 24 年 7 月より麻酔科医 1 名を採用しています。

### ■医療提供体制の充実

- ・当院の診療科目及び疾患傾向から、特に脳神経外科分野において作業療法によるリハビリテーション治療の早期介入が求められていることから、リハビリテーション体制のさらなる充実と患者の早期機能回復、早期退院、早期社会復帰を目指し、平成 24 年 4 月より作業療法士 1 名を採用しています。
- ・安全・安心で良質な病院食を提供するとともに、栄養指導体制のさらなる充実と入院患者の満足度向上を図るため、平成 24 年 4 月より管理栄養士 1 名を採用しています。
- ・眼科診療体制のさらなる充実と患者サービスの一層の向上を図るため、視能訓練士 1 名の採用を予定しています。(平成 25 年 1 月予定)